

新学習指導要領の趣旨を踏まえ、これからの時代に求められる資質・能力の育成に向けた授業実践

県立愛西工科高等学校

県立学校教育課程課題研究（産業教育（工業））

新学習指導要領の趣旨を踏まえ、デジタル化対応産業教育装置を取り入れた新しい実習の開発



授業マネジメントシート事例 2年実習フライス盤

授業マネジメントシート	2年（学期）	工業（施設）
○単元名	第2章フライス盤製作	
○単元の目標	フライス盤について、原理、機能及び操作方法を把握して理解するとともに、関連する技術を身に付け、工業製品製造に貢献して、工業生産する過程を正しく理解するとともに解決策を考え、科学的根拠に基づいた改善を促し改善する。授業で学ぶことによって自ら学び、工業製品の加工に主体的かつ協働的に取り組む。	

企業で使用されている最新の加工装置であるNCフライス盤を実習に取り入れることにより、現場に求められるICTを活用したものづくりの知識・技術の習得を目指した。また、指導と評価の一体化の実現に向け、担当者間で指導と評価の統一や情報交換を目的とした授業マネジメントシートの作成と実施も行った。

県立碧南工科高等学校

県立学校教育課程 課題研究（産業教育（工業））

マテリアルリサイクルの実践研究

～スマート機器(蛍光X線分析装置)の活用～

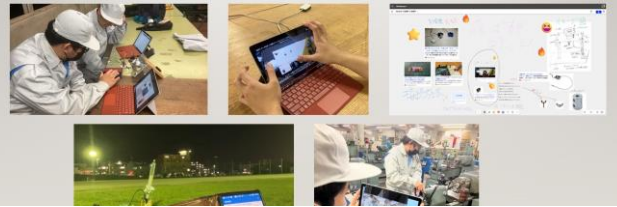


マテリアルリサイクルの実践研究を通して、生徒自らが課題を設定、解決のために試行錯誤を繰り返しながら探究を進める授業実践を行った。抽出した物質の純度や含有物質の分析のために蛍光X線分析装置を活用し、工業製品の品質保証や試験・分析に関する知識・技術を身に付けた。

県立名古屋工科高等学校

県立学校教育課程課題研究（産業教育（工業））

ICTを導入した「主体的・対話的で深い学び」を促進するための授業実践



ICTを活用し、研究テーマの設定から計画、実施、課題追究、総括を生徒が主体的・協働的に取り組むことを目的に研究実践を行った。プログラミングコード作成においては、問題解決の手がかりとして生成AIを利用した。

県立岡崎工科高等学校

県立学校教育課程課題研究（産業教育（工業））



デジタルノートを活用した教育実践と評価方法
～Microsoft OneNoteの活用～



生徒への学習効果を高めるための取組や教員の業務軽減を目指し、授業でMicrosoft OneNoteの活用を実践し検証を行った。ICTの活用は、生徒の学習改善や教員の指導改善にも効果的であった。

県立豊橋工科高等学校



都市工学科では、100年先の社会基盤を支える人材の育成を目指し、都市計画や街づくりについて幅広い知識を習得し、地域に潜む課題や問題点を当事者として意識でき、自身の進路選択や人生設計につなげるのできるキャリア教育の実践を行った。



『工業のページ』は
←こちらから